

健康通信

アピアランスケア〜脱毛時のウィッグについて〜



がん化学療法看護認定看護師

高木 真由美

アピアランスケアとは

アピアランスケアとは、薬物療法の副作用による外見の変化（脱毛・爪・皮膚など）や、外科治療・ケガなどによる傷（キズ）の変化がもたらす患者のストレスを軽減するためのケアです。

アピアランスケアの目的は、治療前と同じ姿に戻すことではなく、治療を前向きに考えることができる、自分らしさを感じられる、周りの目が気にならなくなるためにサポートをすることです。当院でも、がん相談支援センターや外来化学療法センターで、ウィッグ（かつら）やキズ・シミなどのカバーマイク、爪のケアなどの相談対応を行っています。

今回は、外見の変化の中で最も相談の多い、ウィッグの特徴についてご紹介します。

「セミアオーダー品」

既製品より値段は高めですが、スタイルや毛質など、いくつの中から選ぶことができます。納期などは販売店によって異なるため、事前に確認が必要です。

「フルオーダー品」

価格は高いですが、自分の頭に合わせ型どりするためフィットします。スタイルや色、毛質など自由に選べ、希望のヘアスタイルを目指すことができます。オーダーメイドのため納期に時間がかかります。

「毛質の違い」

【人工毛】
アクリル・ポリエステルなどで作られ、人毛よりも軽いです。しかし、熱や摩擦に弱いので、後からパーマやカラーの変更はできません。お手入れは水洗いで、自然乾燥や冷風で乾燥させます。

「混合毛」

人毛と人工毛の混合で、割合や素材により値段もさまざまです。パーマ、カラーの変更やお手入れ方法は「人工毛」と同様です。

「人毛」

人の毛髪を特殊加工しているのので、パーマやカラーの変更も可能です。色褪せや枝毛などのダメージを受けることがあります。お手入れは、ぬるま湯

「医療用とおしゃれ用の違い」

【医療用】
頭皮に直接あたることを前提に作られています。裏側の素材が頭皮にやさしく、通気性が良いなど、頭皮に負担が少ないように考慮されています。

「おしゃれ用」

髪の毛がある方を前提に作られているため、毛の量が少なめなものや、種類によっては頭皮全体をカバーできないものもあります。

「ウィッグの作り方の違い」

「既製品品」

比較的安価なものからあり、購入したその日から使用できますが、スタイルやサイズがある程度決まっています。また、サイズ調整できない場合もあります。

ウィッグを選択するときのポイント

ウィッグを購入する際には、着けたときのイメージや着け心地、種類、分け目、下にかぶるネット、通気性の良いもの、サイズが調整できるもの、アフターケアなど、それぞれの特徴について販売店で確認をしましょう。



【引用・参考文献】

- ・静岡県立静岡がんセンターホームページ、抗がん剤治療と脱毛(2020)
- ・野澤桂子、藤間勝子(2017) がん患者のアピアランスケア、南山堂、東京都

<https://www.scchr.jp/book/manabi2/manabi-body3.html>

保健センターからのお知らせ

市ではウィッグ等の購入費を助成しています。詳細は市ホームページをご覧ください。

申請・問合先
保健センター (☎75-6471)

